

# ねりまの文化財

## 1/26は文化財防火デー



写真提供 練馬消防署

平成2年1月26日  
中村 南蔵院境内



見学する幼稚園児

昭和24年(1949)1月26日に、奈良の法隆寺金堂壁画が火災により失われたことをきっかけとして、毎年この日に全国で文化財防火デーの行事をおこなっています。  
この文化財防火デーは、防火という点だけではなく、この行事を通して文化財を大切にすることを、広く区民の皆さんに知っていただくために、行っているものです。

### 〈消火訓練〉

1月24日(木)

道場寺(石神井台二丁目)

1月26日(土)

土支田八幡宮

(土支田四丁目)

▼いづれも午前10時訓練開始。各会場で記念品を差し上げます。

練馬区教育委員会  
社会教育課  
(文化財保護係)  
☎3993-1111 内線 2766  
〒176 練馬区豊玉北6-12-1

### ◆受講者を募集◆

#### 文化財特別講座

#### 「博物館の見方・

#### 楽しみ方」

このたび「博物館の見方・楽しみ方」をテーマに文化財特別講座を開催致します。

博物館は単に見学し、学習するだけの場ではありません。見て、感じて、創造してと心豊かになれるもっと楽しい場所です。

博物館はどんな所なのか改めて知り、新しい魅力、自分だけの楽しみ方を発見してみませんか。

#### ▼講義「博物館、今・昔」ガイドランス」

「まちの博物館」

「世界の博物館いろいろ」

「博物館」知の冒険」

#### ▼見学・川崎市民ミュージアム他

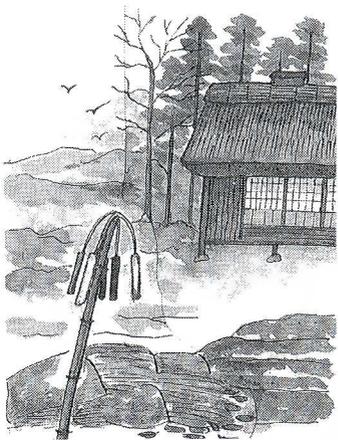
日時・場所・申込み方法等は、ねりま区報2月1日号をご覧ください。

#### ▼問い合わせ・文化財保護係

# 農家の正月行事

文化財保護推進員 亀井 邦彦

師走を迎えると、十二月八日の「お事始め」からす払いを始める家もあったが、多くは二十日から二十五日頃までに大掃除をした。この頃餅搗きも行われる。家にもよるが、この時の餅搗きは正月用で、一月末頃改めて大量に餅を搗く家が多かった。これを「寒餅」といい、その後の農作業時の間食とした。軒の農家で日を決めて、お互いに手助けに出かける。一石、二石、多い家では四石ほど、夜を徹して搗いた。



「あぼひぼ」 片桐讓氏画

三十一日には正月の料理を作り、重箱に詰めておく。また御神酒を神棚にあげ、年越しのそばかうどんを作って供えた。元旦には神棚に若水を汲んで供え、神、燈明をあげ、お供え餅、御神酒、お雑煮を供えて、一家揃って礼拝をする。三が日は雑煮を食べる。雑煮はしょう油で煮込む家もあり、焼餅に青菜、里芋等の入った汁をかけて食べる家もある。

四日目に、「大番」といって、親戚や近所の人々が年始に来るのをもてなす。「おせち」ともいった。

七日は門松を片づけ、七草がゆを食べる。また「あぼひぼ」を作る家もあった。

十四日には米の粉で団子を作り、かしやなら、けやき等の枝に付けて飾る「まゆ玉」を作った。養蚕が盛んだった地域の名残りとか。十五日は「小正月」を祝い、二十日には「二十日正月」で、えびす、大黒の祭りをする。かつては二月一日の「旧正月」を祝う家も多かった。農作業の切れ目からも、こちらを正月として、三が日を休む家もあった。

(昔の農家の正月行事をまとめてみました)

## 投稿 旧水路を歩いた江田田散歩

天候に恵まれ、浅間神社境内での受付は、長い列だった。富士塚、千川上水植桜楓碑の説明を聞いて出発した。湧水池の跡といわれる歯科医院の裏から旧水路を歩いた。このような所をコースに入れるのは、ユニークな発想だと思った。私は子供の頃、この小川で笹舟を流して遊んだので懐しかった。

八雲神社、庚申塔を見て、能満寺では千川上水と千川地蔵の説明を聞いた。千川通りを通った後、武蔵野稲荷神社で白狐のお話を聞いてから、武蔵大学内「濯川」を見学した。千川上水分水跡に、環境の良い水辺の散歩道が造られていた。

今回は参加者が多くて、講師のお話しを聞き取りにくいのが残念だったが、とても楽しく、現在の風景のうしろに昔の日の情景が想像できる散歩だった。

〈匿名希望の女性より〉

〔担当者から……〕

今回の史跡散歩は、参加者155名、講師や国際交流担当者等で、総勢170名程の大部隊でした。参加の皆様の出足が予想より遅く、先行の鈴木講師のグループが少人数で、後の亀井講師のグループとのバランスが崩れ、皆様に申し訳ないことになりました。

# 練馬区Uの文化財

— ねりま製作の —

文化財保護推進員

桑島新

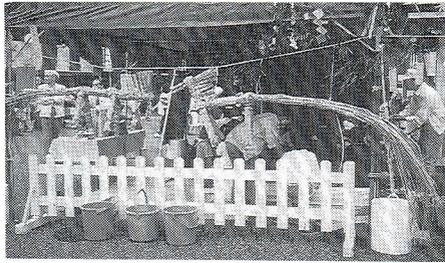
10月7日、心配した台風21号は思いのほか足取りが遅く、それが幸いして、薄曇りの空の下、練馬まつりは予定通り開催された。

朝7時半、文化財保護推進員が次々と集まる。向山庭園に七夕飾りの竹を切りにゆく係り、文化財の写真展示と8ミリ映画の準備をするもの、ちがや馬の制作実演コーナーが手際よく設営される。

9時前、同じ文化部会の囲碁・将棋・野点・生け花・お囃子・似顔絵のコーナーはすべて準備完了、開幕を待つばかりとなった。

練馬のむかし、農家では七夕飾りにちがや馬を祭った。神様がその馬に乗って田畑を巡り、疫病や災害を防ぎ、豊作を授けてくれるという信仰があった。今ではそのことを知る人も少なくなった。練

## ちがや馬



馬まつりでは、ちがや馬の制作実演を行い、昔の練馬のくらしをかいま見ることにした。ちがやは茅の一種だが、練馬区中探してももうない。つてを求めて飯能まで刈りに行った。真夏の炎天下、社会教育課長の陣頭指揮で二トン車いっぱい

収穫があった。ちがやの選別は郷土資料室の皆さんに協力願った。

当日は開進第三小学校の四、五年生が大勢参加してくれた。部屋のアクセサリに可愛いらしいと、手作りに挑戦する主婦もいた。作ったちがや馬や色短冊を笹竹につるし、お神酒やまんじゅう・くだもの・野菜を供えて

## 戦国時代の兵糧食

戦国時代の兵糧食を、最近試食してみた。その主なものはつぎの通りである。

**干飯（ほしい）** 白米をふかしてから乾燥したもので、水にませればすぐやわらかくなる。但し、これは武将の食べ物である。

**いり米** 玄米をホウロクで煎ったもの。香ばしいので、そのまま食べられる。いり米は袋に入れて、雑兵たちは腰に下げている。

**兵糧丸（ひょうろうがん）** そば粉を酒にひたして練る。黒豆と麻の実をませて丸め、天日に干す。それをさらに焼いてもよい。そばだけでは味が無いが、豆と麻の実が丁度よい味となっている。

**焼きそ** みそにすりごま、青しそ、山椒、生姜をませて固め、それを焼く。このままでも食べられるし、適当にセイン質もあって、よいと思った。

昔の風習をしのぶ。傍らでちがや馬制作の過程を撮影した8ミリ映画が上映される。区登録文化財のパネル展示も人気がある。盛況のうちにはちがやが品切れになった。

この催しを期に練馬区民俗芸能保存会が誕生した。

文化財保護推進員 伊藤経一

**兵糧パン** こむぎ粉を練り、それにごまと塩を入れて丸く平たく固めて干す。出来上りは現在の乾パンのようになる。

以上の他、ほし納豆、カラカラにした梅ぼし、いもがらなど、何れも袋に入れて持ち歩けるものばかりである。

しかも戦場であるため、火を焚いて湯を沸かさずとも、水で干飯はやわらかくなる。木をくりぬいた椀に、干飯と焼きそを入れ、これに水をそそぎ、これも木をくりぬいたさじで、（水がゆみたいなので、この時代、箸などは使わなかったようである）よくかき混ぜてすすれば、みその味と塩つけが出て喰った感じは十分である。恐らく石神井城の武将たちも、こんな兵糧食を食べていたであろうことを思い浮べながら、味わった次第である。（茨城県猿島町逆井古城まつりから）

## 文化財講座 第2回

今回は、「戦国時代の武将たち―北条氏照を中心として―」と題し、第一日目に講義、第二日目に滝山城跡他の見学を行いました。

。(火) 練馬公民館第一教室で講義

講師―東京学芸大学講師 土井義夫氏

参加62名(応募97名から抽選)

北条氏康の次男といわれる氏照の軍事・外交を中心に、氏照居城の滝山城や八王子城の構造、さらに滝山城から八王子城

への移転などについて、遺構図や印判状などの資料をもとに学びました。

。(水) 八王子市郷土資料館、滝山城跡の見学

郷土資料館では特別展「八王子千人同心」を見学、滝山城跡では、三班に分かれ講師の説明を受けながら、空堀や土塁跡などを見学しました。

国指定史跡の滝山城跡は、土塁や空堀がよく保存されており、400年も前の攻防戦が偲ばれます。昔の様子を知る手がかりを与えてく

## 文化財日誌

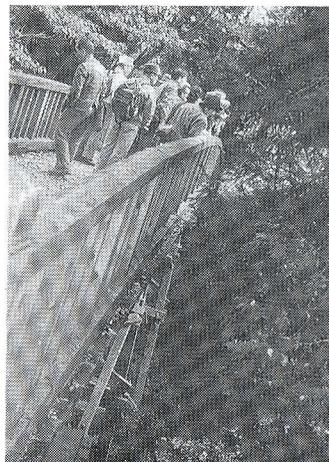
(平成2年10月1日～11月30日)

〈10月〉

- 3日 埋蔵文化財試掘(関町北四丁目)
- 7日 ねりま祭り(関連記事 3頁)
- 11日 埋蔵文化財立会(早宮三丁目)
- 11日 11月11日小島家文書展示(郷土資料室)
- 12日 中里の富士塚胎内調査。埋蔵文化財立会(東大泉三丁目、早宮一丁目)
- 練馬白山神社大ケヤキ保護対策検討委員会(第3回)
- 15日 文化財保護審議会(第1部会)
- 22日 " (第2部会)
- 25日 埋蔵文化財立会(氷川台二丁目)

〈11月〉

- 28日 秋の史跡散歩(関連記事 2頁)
- 31日 埋蔵文化財実踏(上石神井一丁目)
- 1日 埋蔵文化財実踏(豊玉北二丁目)
- 6日 7日 文化財愛護全国研究集会
- 9日 埋蔵文化財立会(貫井三丁目)
- 15日 " 試掘( " )
- 20日 21日 文化財講座(関連記事 4頁)
- 22日 埋蔵文化財立会(石神井町三丁目、旭町三丁目)
- 27日 埋蔵文化財実踏(羽沢三丁目)
- 28日 12月5日 No.77遺跡発掘調査(高野台一丁目)
- 28日 12月28日 中村橋遺跡発掘調査
- 30日 文化財保護審議会(全体会・第2回)



中の丸と本丸の間の空堀(からぼり)にかかる橋

れるこうした遺構は、貴重な文化遺産です。大切に保存し、後世に残していきたいと思えます。

練馬区にも豊島氏の城である石神井城の空堀跡が石神井公園内に残っています。是非一度ご覧頂きたいと思えます。(須)

### 編集後記

11月初旬、「文化財愛護全国研究集会」参加のため、上野の国立博物館に出張しました。この時期、同博物館では正倉院宝物など天皇家ゆかりの品々を集めた「日本美術名品展」を開催中。即位礼に伴う、外国要人等の来訪もあるようで、厳重な警備体制がとられています。「全国研究集会」参加者も、散会后これを見学しました。古代の秀品が多く展示されていました。

(題字は、練馬区長 岩波三郎)